

国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所では、協定を締結しているボランティア・サポート・プログラム（略称VSP）の活性化と活動を紹介することを目的として「VSP通信」を発行しています。

京都市山科区で、「安心・安全なまちづくりの推進」を目的として、市民団体（「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」山科区推進協議会）が、京都国道事務所とVSPの協定を締結して、区内を通る国道1号沿い（新大石道～京都東IC付近）に、区民の方々が育てた花を植えたプランター約1800個を、歩道に設置する取り組みが行われることになりました。

11月27日（日）に、本願寺山科別院でオープニングセレモニーが開催されましたので、その様子を報告します。

笑顔と花いっぱいプロジェクト オープニングセレモニー

日程：平成28年11月27日（日）10時～

場所：本願寺山科別院多目的会館

次第：

○主催者挨拶
田中 長一氏
（笑顔と花いっぱいプロジェクトチーム会長）

○来賓者挨拶（代表）
門川 大作 京都市長

○出席者紹介
馬渡 真吾 京都国道事務所長他

○「笑顔と花いっぱいプロジェクト」事業説明
堀池 雅彦 山科区長

○VSP協定書交換
田中会長と馬渡京都国道事務所長

○山階小学校児童からのプランター引き継ぎ
山階小学校児童及び地域の代表



全長3.5kmをプランターで
花いっばいにします



まちいっばいに並べました



門川京都市長
「泥棒は花が嫌いでゴミが好き」みんなできれいにして安心安全なまちにしましょう



田中会長（左）と
馬渡京都国道事務所長（右）



参加者全員で記念撮影



山科区の子も達がお花のお世話をしてくれました

ボランティア・サポート・プログラムとは？

道路管理者（国土交通省）が、国道の清掃や美化等の維持管理をしていただける団体の活動に対して、清掃用具の貸与や活動時の怪我などの補償するボランティア保険の費用負担、サインボード（団体を紹介する看板）の設置といった支援を行う制度です。